



## 東 北 方 面

### 北郷と東根間の 府縣道改修さる

#### 府縣道改修さる

### 誘説道路舗装の普及を圖る

宮城縣では道路の舗装を普及せしむるため、市町村を誘説して必要なる個所に、之れを實施してゐるが、本年度に於ては原の町、榴ヶ岡から石の巻街道分岐點まで六百二十間、長町廣瀬橋から驛前まで五百八十間、市内石切町から八幡町神社前まで三百六十間を舗装する筈である、また市に於ては虎屋横丁、玉澤横丁、立町通り及元寺小路に施行する計畫で目下調査中である。

工事中の宮城縣伊具郡北郷村江尻間門から東根村小坂に至る府縣道（仙臺——角田線）の改修工事は、着工以來約一ヶ月で昨今殆んど竣工の域に達してゐるが、交通頻繁なこの道路は工事の完成に依り非常な利便を見るわけで、地方民は大に喜んでゐる、最早車馬の通行にも差支なく角田軌道は去る一月五日から運轉を開始してゐる。

### 北上川架橋問題

宮城縣石の巻町立町道路擴張問題は大騒

ぎした丈で結局尙解決がつかない様子である、一方明年度に於いて架替される工費六十萬圓の北上川内海橋は、現在の道路を本筋とするか、或は立町道路の行惱みから更に落横丁を六間幅に擴張して、新田町に抜け一直線に停車場道路に出て、同横丁より立町通りを一直線に進み、千葉甚脇廣場から湊北目町に八間幅のコンクリート鐵橋を架設し仲瀬には丁字型に架橋し現在の内海橋兩橋はそのまゝにして假橋にしやうこの議が高橋縣議外有志間に唱道されてゐるので町當局でも多少その氣になつてゐるやうだが、其の理由とする所は明年度より架替工事に着手するさしても二年位はかかるが、其の間假橋を架けるさしても五、六千圓の經費を要するから現兩内海橋を存置し立町通から一直線に八間幅の大橋を架設すれば第一現在の如く曲つた道路にならず、立町擴張問題も紛糾を見ないことになるさいふのである、落横丁を擴張することは至

難でないとしても、新田町に抜けて更に停車場廣場に出るのは曲折となり且仲瀬に中繼せずに大橋を架することは非常に經費に影響を來すので、どんなものか危ぶまれ又立町多數の有力家から反對があり、旁々町當局でも頭を悩めてゐるから決定を見るまでには可成りの時日を要するであらう、併し結局は縣の豫定通り現在の内海橋を多少位置を變更して二橋となるものと思はれる、仲瀬上方に架橋するにせよ約百間に近い長橋となるから、石の巻町の一大名所として壯觀を呈するであらう、尙右案に對する道路實査のため一月二十日川越土木課長の一行が高橋縣議の案内で視察を遂げた。

## 東海方面

### 木曾川架橋問題一變

熱田新田東組から伊勢に行く國道第一號

沿線の木曾川に橋を架けやうとする問題は既に十數年前からの縣案となつてゐたが、何分全國でも大河川とされてゐる木曾川の事とて其の流域廣く莫大な工費を要するの途に今日迄實現を見なかつたが、一昨年鐵道省が關西線の同川鐵橋の架け換へを計畫し爾來工事の進むにつれて其の廢橋の拂下を受けて、これに修繕を加へ國道の橋梁とすべしとの議が起り、時の柴田知事は三重縣とも折衝の結果遂に昨年五月愛知、三重兩縣同時に參事會に提議する迄に立至つたが偶々地方長官の更迭で一時立消えとなり、昨年末の縣會で又復此の問題が再燃した、愛知縣では爾來研究中であつたが、最近に至り同廢橋を以て架橋する事は全然中止し縣に於て新らしく架設する事に決定した、其の理由とする所は同廢橋は幅員僅に十四尺にして國道の規定最少幅員十五尺よりも尙ほ狭く、従つて自動車交通を最も主とした同路線には極めて不適當なもので折角莫大なる費用を投じて行ふも其の效果なく、加へて内務省としても斯かる重要路線に規定より狭い廢橋を以て架橋と爲すに於ては假橋とより見做さず、従つて工費四分ノ三の補助さへ出さぬ模様なので寧ろ此の際斯かる姑息の架橋を排して全然新しいものを架設した方が得策である云ふのである、然してこれが工費に就ては今の所判明せぬが大體に於て五十萬圓を要するもの如く此の中國道に就ては前記の如く國庫より四分ノ三の補助あるがために縣としては全工費の四分ノ一即ち十二萬五千圓内外で、然も三重と愛知の兩縣で負擔するにせれば、愛知としては六萬三千圓許り支出すれば好いことになる、然し三重縣としては、他に揖斐長良の二大川があるので、結局愛知縣としては、木曾川の架橋費のみは支出する事になるであらう、何れにしても一時具體化した廢橋により、架橋問題も知事の変更によつて全く一變し近く三重縣に向け

再度新交迭が始められる模様である。

### 新城本町カーブ改修反對起る

愛知縣南設樂郡新城町本町地内郵便局から同町田町橋に通ずる府縣道は、目貫の街路となつて居るが、大きなカーブを有して最近交通の激増に伴ひ、自動車、牛馬車、自轉車等が著しく輻輳し交通上危険の虞があるのので、沿道有力者等は縣から四萬圓の補助金交付を受ける豫定で之が大改修を計畫し、關係者五十八戸の調印を取纏め申あつたが、内三十七戸は異議なく調印を終つたけれど、残り二十一戸は反對を唱へ、去る一月十四日同町永住寺へ會合し反對の氣勢を擧げた、爲に澤田町長は折角の計畫が畫餅に終つて同町の發展を阻害するやうでは遺憾であるとして、十七日同町道路委員と同道して、小幡知事に補助金の増額方を陳情したが、反對者側では同工事は少くも五萬六、七千圓の經費を要し、四萬圓ばかり

りの補助金では五十八戸に於て、一戸當り二百圓からの負擔となり不況の今日それまでにして改修するの必要を認めないと言ふのであつて、縣費補助の増額されない限り、改修に一頓挫を免れぬものと見られて居る。

### 豊橋の都計道路網決る

愛知縣豊橋市の都市計畫道路網は、疊に内務省に於て調査中であつたが、漸く決定を見、數日前愛知地方委員會へ廻送して來たので、愛知地方委員會では委員會を開き審議決定する筈である、尙岡崎、一宮兩市の都市計畫は前者は昨今測量中であり、後者は又配線中であるからプランが完成して、内務省に送附されるのは先づ本年八、九月頃となり従つて愛知地方委員會で決定を見るのは早くも明春に至る模様である。

## 近畿方面

### 府縣道に編入された

#### 加印の町村道路線

兵庫縣會に於ける加古郡、印南郡に對するお土産は、加古川、別府港町村道の府縣道認定及印南郡大鹽港と法花山谷川志方村所屬法花川橋以下の各縣費支辨、西志方村横大路から東志方村細工所及横大路から魚橋に達する各町村道の府縣道認定等であつて多年の宿望を達成した譯で兩郡選出縣議の努力の蹟が見える、而して大鹽港は宇治電神姫線開通の結果大鹽驛に於て海陸完全に連絡し同地製鹽の輸出及果物の輸入等で近時一層盛んである。

### 今年改築の大阪の橋

昨年末には渡邊、肥後の姉妹橋が竣工して、水の都の美觀を添へたが、本年は大江、淀屋の二橋の架け換へ工事が始まる外、明治初年の大阪人士に辨當持で見物に來させ

た有名な高麗橋も、昭和の御代に相應しく改造される、控訴院前のダムは本春大部分の工を了はるが、それと相前後して堂島川北岸の大江橋鉾流橋間の河岸地が公園化されるし、この鉾流橋も本年中に耐震耐火の近代橋に改築される事になつてゐるから、この一帯は著しく面目をあらためるこゝになる。

### 帝釋峽遊覽道路

廣島縣帝釋峽開發株式會社では、帝釋峽が日本百景に入選當時發表した、帝釋村永明寺前から雄橋、そうめん瀧、斷魚溪、雌橋を経て神石郡永渡村宇大瀬の神龍湖鐵橋に至る延長三里半幅員九尺の遊覽道路をいよく新設することになつた。工費十二萬圓一ヶ年内に完成の豫定で四月上旬起工する筈である。

### 府縣道改修促進の決議

多年縣政上冷遇されてゐた、兵庫縣朝來郡與布土村は、昨春秋の縣會で道路河川にも、豫算に編入の幸運を見たので、之れが經過報告と今後の對策のため、一月十四日村民大會を開催、與村長から詳細經過報告をなし左の決議をした、當日は與布土村に關係ある五部落の人達も參加して、頗る盛況であつた。

#### 決 議

梁瀬中川縣道の完成促進の爲關係町村民は大同團結の下に一致協力直ちに之が改修に着手せらる、様最善を盡くし其の目的を達成せんことを期す

## 中 國 方 面

### 廣島縣下の道路大改良

廣島縣の道路大改良計畫は、いよく三年度から十ヶ年繼續事業とし其の經費千六

萬七千二百圓は、市郡連帶特別會計とし、一月十六日通常縣會へ提案された、其の内容は

- 工事費九百三十二萬圓（國道改修費二百四萬七千八百十二圓、指定府縣道改修費五百四萬圓、その他の府縣道改修費二百二十三萬二千九百十八圓）雜費七十四萬七千二百圓（國道改修費十八萬八千七百五十圓、指定府縣道改修費四十二萬七百圓、その他の府縣道改修費十三萬七千七百五十圓）
- で各年度に於ける支出額は左の通り
- 三年度 九十五萬七千五百圓
- 四年度 九十八萬八千八百圓
- 五年度 九十八萬四千八百圓
- 六年度 百二萬千八百圓
- 七年度 百萬五千八百圓
- 八年度 百二萬九千八百圓
- 九年度 九十九萬八千八百圓
- 十年度 九十九萬四千八百圓
- 十一年度 百四萬八百圓

十二年度 百三萬四千三百圓

これ等道路改修費の財源として昭和三年  
度から昭和十二年にいたる十ヶ年度間に於  
て、毎年度金七十萬圓以外、合計七百萬圓  
以内を大藏省預金部、罹災救助基金、公共  
團體、銀行、會社または個人から借入れる、  
但し工事進捗の都合に依り當該年度分起債  
額の幾分を後年度に於て、借入れることが  
出来る、此の以外三百餘萬圓は國庫補助及  
稅收入に依る、尙ほ縣債償還方法は昭和六  
年度までに利子だけを償還するに止め、昭  
和七年度から元利ともに償還し昭和二十一  
年度に於て、起債の全額を償還し終ること  
になつてゐる。尙ほ産業道路費明年度支出  
額は九十五萬七千五百圓であつて内起債七  
十萬圓、國庫補助金二十五萬圓、残り七十  
五百圓は軌道會社負擔及稅收入に依ること  
にしてゐる。

## 道路改良と相俟つて

### 産業の振興

廣島縣の十ヶ年繼續事業、經費一千餘萬  
圓の道路改良案は、縣下産業に重大な關係  
を以つて居り其の路線として、何れが指定  
されるかは縣民注視の焦點となつてゐる、  
而してこれが恩澤を蒙るものは勿論郡部側  
の交通不便な地方の居住民で、現在にいた  
るまで交通不便の爲に、其の重大な産業の  
發展を見得なかつた地方は指を屈するに餘  
りある状態である、縣農林課でも此の道路  
改良計畫と相俟つて、産業振興の大策を樹  
立すべく諸般の調査を行はんとする模様で  
ある、若し此農林課の計畫が實行されるこ  
と、なれば毎事業年度に於ける道路改良路  
線の決定施工によつて夫れ々々の地方に適  
合した具體案が作製實行され、府縣道改良  
の十ヶ年計畫が實施済みとなつて、始めて  
此計畫も一段落となる筈で、其後に於ける

縣下の産業状態は刮目に値するものがある  
だらうと見られてゐる。

### 本郷道路修理

廣島縣豊田郡本郷町では二月四日午前八  
時から全町一齊に道路愛護デーを催し、各  
戸一人以上の勞役奉仕に依つて國縣町道の  
大修理を行ふた。總指揮官は池田町長で役  
場吏員並各區長等の指揮指導に依り石垣の  
修理、雜草の除去、砂利栗石の運搬、排水  
路の浚渫に終日熱心に作業し、過日來の降  
雨積雪に依る惡道は忽ちにして善道とな  
り、交通の便此の上もなく午後五時全作業  
を終つた。

尙當日は縣立本郷農學校生徒並小學校兒  
童も参加し、各受持教師の指導に依る活動  
振りは涙ぐましい程であつた。